

## Web 情報紹介収載

### Web 情報紹介【2016No.12】(HP 収載)

Web Site : Phile-Web

URL : <http://www.phileweb.com/news/audio/201604/30/17200.html>

関連 URL : <http://www.phileweb.com/sp/news/audio/201605/24/17279.html>

記事題名 : iFI-Audio、「iPhono2」発表。「SPDIF iPurifier」を世界初公開

関連記事 : 【イベントレポ】iFI-Audio「iPhono2」と「Pro iCAN」でアナログ再生の最前線を体感

管理者 : Phile-Web

収載日 : 2016.4.30

備考 :

4月29日・30日に開催された「春のヘッドホン祭 2016」におけるiFI-Audioの新製品発表会のニュースで以下に記事の内容を引用します。



「micro iPhono2 は、現行製品の「micro iPhono」の後継となるフォノアンプ。機能は従来モデルを引き継ぎつつ、J-FET チップを ESS 製からバー・ブラウン製に変更。また、カートリッジに合わせたゲインの変更幅を、従来の 66dB までから 72dB までへと強化した。回路設計も大幅に変更。サーボに加えて、従来モデルでは採用していたカップリングコンデンサーも排除することで音質を大幅に高めた。結果、S/N は従来機の 82dB から 85dB へ、ダイナミックレンジは 90dB から 106dB へ改善されたという。」



「iPurifier2 type A」は、「iPurifier2 type B」に続いて登場した USB オーディオアクセサリの第二世代モデル。本機は出力側の端子に USB-A を採用。独自のアクティブ・ノイズキャンセリング (ANC) および REclock/REgenerate/REbalance 技術を採用。USB 信号の伝送におけるジッターおよびノイズの排除を徹底した。」



「サプライズで登場した「SPDIF iPurifier」は、文字通り S/PDIF 信号を伝送する際にノイズやジッターを除去するアクセサリ。DSD を含むハイレゾ信号のビットパーフェクト伝送にも対応し、AC3 や DoP などの信号伝送も可能。本機には iFi-Audio を手がける AMR ブランドの、50 万円クラスの DAC で使われているクロックと同じものが採用されているとのことだ。トルステン氏は「伝統的な伝送方式ながら、近年は Apple TV をはじめ IT 系機器でも S/PDIF を使う場面が増えている。SPDIF iPurifier は、ノイズやジッターが乗りやすい S/PDIF を、REclock や REgenerate の技術によって高精度伝送できる」と語っていた。」

以上の記事に接し、iPhono は既に使用していますし、スイッチング電源のノイズキャンセラー「iPurifier DC」の威力も体験済みですので、上記 3 製品は是非とも試聴したいと思っています。

以上

